



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) ジョン・マロッタ
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高戦略責任者 (氏名) 平嶋 竜一 TEL 03-5408-7280
 (CSO)
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	166,051	20.6	13,541	107.3	20,148	667.1	15,070	512.7	14,992	501.9	15,251	799.0
2021年3月期第2四半期	137,710	18.3	6,533	27.2	2,626	126.8	2,459	-	2,491	-	1,696	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	129.06	125.01
2021年3月期第2四半期	21.96	21.31

(参考) 持分法による投資損益 2022年3月期第2四半期△74百万円 2021年3月期第2四半期△57百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	569,204	124,067	123,506	21.7
2021年3月期	569,347	107,561	107,018	18.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期 (予想)	-	-	-	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	331,770	8.4	27,347	55.4	31,786	39.5	24,002	42.6	23,850	41.1	200.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	116,363,315株	2021年3月期	116,950,225株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	211,941株	2021年3月期	756,406株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	116,163,009株	2021年3月期2Q	113,448,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) キャッシュ・フローに関する説明	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、「当期」）は、日本では新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が継続されるも、世界的には先進国を中心にワクチン接種が一段と進み、ロックダウンなどの規制も解除され、急速に経済活動が回復にむかったことで、病院における通常の診察や検査が回復し、制約がある中で営業活動を活発化してまいりました。加えて、各国が新型コロナウイルスのワクチン接種を推進したため、ワクチンの保存・流通網整備のための超低温フリーザーへの強い需要が継続し、特に欧米での製薬企業の大規模案件を多数受注したほか、日本におけるPCR検査の需要も継続したことから、新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受けた前第2四半期連結累計期間と比較して業績は大きく回復しました。

当期における当社グループの売上収益は、166,051百万円（前年同期比20.6%増）となりました。前述の新型コロナウイルスのワクチン接種およびPCR検査の状況の好影響を受けたヘルスケアソリューション、並びに、超低温フリーザーへの強い需要の継続や病院での通常診察回復の好影響を受けた診断・ライフサイエンスで大幅な増収がありました。営業利益は、増収の好影響があった一方で販売関連費用の増加や糖尿病マネジメントの事業構造改革関連費用2,958百万円の計上があり、13,541百万円（前年同期比107.3%増）となりました。調整後EBITDAは36,907百万円（前年同期比56.3%増）となりました。主な当該調整項目には減価償却費（加算15,656百万円）、一時的な事業構造改革関連費用（同3,990百万円）、一時的な役員報酬（同1,833百万円）、一時的な契約解除等に係る費用（同1,482百万円）、一時的な資産の処分等収益（減算1,295百万円）がありました。税引前四半期利益は20,148百万円（前年同期比667.1%増）となりました。この増加は主に、当社が非支配持分を有する上場会社であるSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価の影響によるものです。親会社の所有者に帰属する四半期利益は14,992百万円（前年同期比501.9%増）となりました。この増加は主に税引前四半期利益の増加によるものです。当期の実際負担税率は25.2%でした。調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益は19,842百万円（前年同期比148.6%増）となりました。当該調整項目には、上記調整後EBITDAに反映した調整項目のほか、M&A関連収益・費用（償却資産）（加算5,865百万円）、転換権付貸付金時価評価収益・費用（減算5,751百万円）がありました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	137,710	166,051	20.6%
営業利益	6,533	13,541	107.3%
EBITDA	23,178	29,114	25.6%
調整後EBITDA	23,621	36,907	56.3%
税引前四半期利益	2,626	20,148	667.1%
四半期利益	2,459	15,070	512.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,491	14,992	501.9%
調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,983	19,722	147.1%
米ドル平均レート	106.86	109.77	2.91円
ユーロ平均レート	121.24	130.81	9.57円

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業利益	6,533	13,541	107.3%
+ 減価償却費	15,030	15,656	4.2%
+ 減損損失（有価証券等を除く）	1,615	△83	-
EBITDA	23,178	29,114	25.6%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	2,093	521	△75.1%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	1,882	3,990	112.0%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	260	△1,066	-

＋ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	△4,257	1,482	－
＋ 一時的な役職員報酬	－	1,658	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	465	1,208	159.8%
調整後EBITDA	23,621	36,907	56.3%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失 (有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

(親会社の所有者に帰属する四半期利益及び調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益の算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,491	14,992	501.9%
(調整額)			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	2,093	521	△75.1%
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	1,882	3,897	107.1%
＋ 一時的な資産の処分等収益・費用	260	△3,099	－
＋ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	△4,257	1,482	－
＋ 一時的な役職員報酬	－	1,658	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	466	1,208	159.2%
＋ M&A関連収益・費用 (償却資産)	5,424	5,865	8.1%
＋ 減損損失 (有価証券等を除く)	1,615	－	－
＋ 転換権付貸付金時価評価収益・費用	－	△5,751	－
＋ 法人税見合い調整額	△1,990	△1,050	－
調整後親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,983	19,722	147.1%

(注) 調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益を以下の算式により算出しております。

調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益

= 親会社の所有者に帰属する四半期利益 + 一時的な収益・費用 + M&A関連収益・費用 (償却資産)
+ 減損損失 (有価証券除く) + 転換権付貸付金時価評価収益・費用 + 法人税見合い調整額

①セグメント別の状況

糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	52,111	53,734	3.1%
営業利益	13,078	10,494	△19.8%
EBITDA	21,475	17,297	△19.5%
調整後EBITDA	17,791	19,552	9.9%

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、53,734百万円 (前年同期比3.1%増) となりました。血糖値測定システム (BGM) 事業では、前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響により販売が軟調であったロシア・中国・インドでの大幅な増収がありましたが、米国およびドイツでの大幅な減収がありました。2021年4月から世界初の埋め込み型CGM製品Eversense (Senseonics社製) の独占販売を米国と欧州8か国にて開始しました。当該製品の

米国での販売が計画を下回りましたが欧州での販売は計画を上回り、当事業は当期の売上収益計画を達成しました。迅速検体検査 (POCT) や電動式成長ホルモン製剤注入器 (グロウジェクターL) 等のOEM売上収益は、前年同期に比べ減少しました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、10,494百万円 (前年同期比19.8%減) となりました。一時的な収益・費用として、当期にはBGM事業の営業体制見直しのための事業構造改革関連費用2,958百万円が、前年同期には販売協業先からの和解金収入4,257百万円がありました。

一時収益・費用の影響等を除いた調整後EBITDAは、19,552百万円 (前年同期比9.9%増) となりました。主な当該調整項目には、営業利益に影響した上述の事項、並びに、減価償却費 (当期6,797百万円、前年同期6,782百万円をそれぞれ加算) がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	51,843	66,869	29.0%
営業利益又は損失	△629	8,825	-
EBITDA	4,393	14,040	219.6%
調整後EBITDA	5,870	14,347	144.4%

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、66,869百万円 (前年同期比29.0%増) となりました。LSIM事業の売上収益は、50,415百万円 (前年同期比30.2%増)、メディコム事業の売上収益は、16,454百万円 (前年同期比25.5%増) となりました。LSIM事業では、当期後半において検体数が回復基調にあり、また、新型コロナウイルス感染症PCR検査受託拡大ならびに新型コロナウイルス関連試薬の拡販により、大幅な増収となりました。メディコム事業では、前年同期における新型コロナウイルス感染症拡大を受けた営業活動の自粛からの回復の好影響があり、大幅な増収となりました。厚生労働省による10月のオンライン資格確認本格稼働を受けた診療所用カルテ医事システム「Medicom-HRfシリーズ」のオンライン資格確認システムとのセットでの提案販売、5月に発売した「Medicom-HRf core for MCX」による旧機種からの切替えの促進、調剤システム「PharnesVシリーズ」の大手チェーン薬局向けの販売が好調に推移しました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は8,825百万円 (前年同期は629百万円の損失) と大幅な損益改善となりました。これは主に大幅な増収の影響によるものです。調整後EBITDAは、14,347百万円 (前年同期比144.4%増) となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用 (当期149百万円、前年同期1,360百万円をそれぞれ加算)、減価償却費 (当期5,215百万円、前年同期5,022百万円をそれぞれ加算) がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	33,207	44,037	32.6%
営業利益又は損失	△133	3,004	-
EBITDA	2,721	6,241	129.4%
調整後EBITDA	4,905	8,023	63.6%

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、44,037百万円 (前年同期比32.6%増) となりました。病理事業の売上収益は、19,180百万円 (前年同期比23.0%増)、バイオメディカ事業の売上収益は、24,857百万円 (前年同期比

41.1%増)となりました。病理事業の大幅な増収は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により手控えられていた病院での通常の診察が回復したことにより、機器、消耗品の全商品カテゴリで販売が伸長したためです。当該事業の地域別売上収益において北米(前年同期比26.5%の増)ならびに中国に牽引されたアジア太平洋地域(同19.6%の増)で大幅な増収がありました。バイオメディカ事業の大幅な増収は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた研究活動が特に米州地域において回復傾向にあり、加えてmRNAワクチン保存用の超低温フリーザーの需要が継続したことによります。東南アジア太平洋地域において、2020年7月にシンガポールの販売会社SciMedを連結子会社化したことによる他メーカーの買入商品販売の追加、および各国のワクチン保存需要の確実な獲得による大幅な増収がありました。一方で、調剤支援機器・その他の事業は、主に日本の市場回復の遅れにより減収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、3,004百万円(前年同期は133百万円の損失)の大幅な損益改善となりました。これは主に大幅な増収の影響によるもので、原材料費および販売活動の活性化に伴う一般販売管理費の増加を大幅に上回りました。調整後EBITDAは、8,023百万円(前年同期比63.6%増)となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期809百万円を加算)、一時的なM&A関連収益・費用(前年同期1,788百万円を加算)、減価償却費(当期3,327百万円、前年同期2,854百万円をそれぞれ加算)がありました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて143百万円減少し、569,204百万円となりました。前連結会計年度末よりさらに公正価値が上がったことにより、Senseonics Holdings, Inc.に対する株式転換権付貸付金(純損益を通じて公正価値で測定する金融資産)の評価益を認識したことを主要因としてその他の金融資産が6,299百万円増加した一方、前連結会計年度と同様に、過去の買収により発生した無形資産の償却が進み無形資産が6,548百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて16,650百万円減少し、445,136百万円となりました。この主な要因は、2021年6月末に実行した長期借入金の借換等により借入金が11,707百万円減少したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて16,506百万円増加し、124,067百万円となりました。この主な要因は、四半期利益等により利益剰余金が15,392百万円増加したことによるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の18.8%から2.9ポイント増加して21.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,160百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には59,601百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、20,254百万円(前年同期比7,660百万円増)となりました。税引前四半期利益の増加は17,522百万円であり、これは新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な影響から業績が回復したものであり、また加えて純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価益が前年同期比7,759百万円増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,821百万円であり、前年同期は9,384百万円でした。経常的な設備投資を主とした固定資産の取得による支出が前年同期比480百万円増の6,685百万円となりました。またその他の主な増減要因は、投資の売却及び償還による収入が2,008百万円となったことや、貸付けによる支出が前年同期比3,108百万円減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、14,759百万円のマイナスであり、前年同期は16,016百万円のマイナスでした。この主な要因は、長期借入金の返済・借換収入純額が前年同期12,868百万円から11,334百万円に減少したためであります。長期借入金の借換による収入および長期借入金の返済による支出の総額は、それぞれ311,348百万円、322,683百万円であり、これらはより良い条件を目的とした借換(リファイナンス)によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想については、以下の通り修正しました。

当期の連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	調整後 EBITDA (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に帰属 する当期利益 (百万円)	基本的1株 当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	319,045	20,035	66,025	17,517	13,642	13,511	113.33
今回修正予想 (B)	331,770	27,347	71,994	31,786	24,002	23,850	200.05
増減額 (B-A)	12,725	7,312	5,969	14,269	10,360	10,339	86.72
増減率 (%)	4.0%	36.5%	9.0%	81.5%	75.9%	76.5%	76.5%
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	306,071	17,599	64,053	22,788	16,829	16,906	149.07

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失 (有価証券等を除く)

* 調整後EBITDAは、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスワクチン保存用の超低温フリーザーの売上及び日本における新型コロナウイルス感染症拡大に伴うPCR検査の売上が前回予想比で増加しました。

世界各国では新たな変異株への警戒が続くものの経済活動が急速に回復に向かい、診断・ライフサイエンスでは病院における通常の診察や検査が回復しています。また、米州地域における顧客のライフサイエンス研究への投資活動の活発化が見られ、上期好調であった新型コロナウイルス感染症ワクチン保存用の超低温フリーザーの需要は当下半期も継続するため、診断・ライフサイエンスの売上は下期も伸びることが見込まれます。一方、ヘルスケアソリューションでは日本における新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が9月末で解除された後も新規感染者数は低い状況が続き一般検査は回復傾向にありますが、PCR検査の需要は今後の減少が見込まれます。

以上の状況から、好調であった上期売上の結果に加え、下期も引き続き診断・ライフサイエンスの売上は好調を維持すると見込むため、通期の売上収益、営業利益、調整後EBITDAを上方修正しました。

また、当第2四半期累計期間におけるSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価の好影響を受けて、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益も上方修正しました。

なお、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル=110円、1ユーロ=130円です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,762	59,601
営業債権	63,470	60,703
棚卸資産	38,829	42,321
その他の金融資産	3,208	3,363
その他の流動資産	5,165	6,200
小計	171,435	172,190
売却目的で保有する資産	930	—
流動資産合計	172,366	172,190
非流動資産		
有形固定資産	50,978	48,672
のれん	205,162	205,941
無形資産	109,048	102,499
持分法で会計処理されている投資	2,085	3,072
その他の金融資産	25,246	31,391
繰延税金資産	3,745	4,707
その他の非流動資産	713	728
非流動資産合計	396,980	397,013
資産合計	569,347	569,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	69,268	62,432
借入金	321,486	20,798
未払法人所得税等	3,963	4,060
引当金	5,549	6,568
その他の金融負債	5,371	5,262
その他の流動負債	20,026	19,837
小計	425,665	118,959
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	230	—
流動負債合計	425,896	118,959
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,532	2,374
借入金	67	289,047
退職給付に係る負債	10,281	9,826
引当金	3,045	2,910
その他の金融負債	12,066	11,054
繰延税金負債	6,957	9,583
その他の非流動負債	1,937	1,379
非流動負債合計	35,889	326,176
負債合計	461,786	445,136
資本		
資本金	36,409	36,409
資本剰余金	31,035	31,282
利益剰余金	35,158	50,550
自己株式	△1,624	△568
その他の資本の構成要素	6,040	5,833
親会社の所有者に帰属する持分合計	107,018	123,506
非支配持分	542	561
資本合計	107,561	124,067
負債及び資本合計	569,347	569,204

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	137,710	166,051
売上原価	73,601	83,900
売上総利益	64,108	82,150
販売費及び一般管理費	62,370	70,574
その他の収益	5,120	2,174
その他の費用	266	135
持分法による投資損益 (△は損失)	△57	△74
営業利益	6,533	13,541
金融収益	220	7,789
金融費用	4,127	1,182
税引前四半期利益	2,626	20,148
法人所得税費用	166	5,078
四半期利益	2,459	15,070
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,491	14,992
非支配持分	△31	78
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	21.96	129.06
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	21.31	125.01

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	2,459	15,070
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△1,003	388
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	33	△10
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△104	56
在外営業活動体の換算差額	285	△381
持分法によるその他の包括利益	26	128
税引後その他の包括利益	△762	181
四半期包括利益	1,696	15,251
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,728	15,173
非支配持分	△31	78
四半期包括利益	1,696	15,251

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2020年4月1日時点の残高	31,366	25,297	16,578	△1,275	—	715	8
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	2,491	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,003	33	△104
四半期包括利益合計	—	—	2,491	—	△1,003	33	△104
自己株式の取得	—	—	—	△146	—	—	—
自己株式の処分	—	△55	—	74	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△16	14	—	—	—	—
株式報酬取引	—	194	—	—	—	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△558	—	939	△381	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	122	△544	△71	939	△381	—
2020年9月30日時点の残高	31,366	25,420	18,525	△1,346	△63	367	△96

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2020年4月1日時点の残高	△2,385	△29	△1,691	70,275	20	70,296
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	2,491	△31	2,459
その他の包括利益	285	26	△762	△762	△0	△762
四半期包括利益合計	285	26	△762	1,728	△31	1,696
自己株式の取得	—	—	—	△146	—	△146
自己株式の処分	—	—	—	18	—	18
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	194	—	194
子会社の取得	—	—	—	—	437	437
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	558	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	0	0
所有者との取引額合計	—	—	558	65	437	503
2020年9月30日時点の残高	△2,100	△3	△1,895	72,069	426	72,496

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2021年4月1日時点の残高	36,409	31,035	35,158	△1,624	—	400	△32
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	14,992	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	388	△10	56
四半期包括利益合計	—	—	14,992	—	388	△10	56
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	—	—
自己株式の処分	—	△128	—	164	—	—	—
自己株式の消却	—	△1,250	—	1,250	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△13	11	—	—	—	—
株式報酬取引	—	1,639	—	—	—	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	388	—	△388	—	—
その他の増減	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	246	399	1,055	△388	—	—
2021年9月30日時点の残高	36,409	31,282	50,550	△568	—	390	23

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計	
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計				
2021年4月1日時点の残高	5,680	△8	6,040	107,018	542	107,561	
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	14,992	78	15,070	
その他の包括利益	△381	128	181	181	0	181	
四半期包括利益合計	△381	128	181	15,173	78	15,251	
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	△359	
自己株式の処分	—	—	—	36	—	36	
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△61	△61	
新株予約権の失効	—	—	—	△2	—	△2	
株式報酬取引	—	—	—	1,639	—	1,639	
子会社の取得	—	—	—	—	—	—	
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△388	—	—	—	
その他の増減	—	—	—	△0	2	2	
所有者との取引額合計	—	—	△388	1,313	△59	1,254	
2021年9月30日時点の残高	5,298	120	5,833	123,506	561	124,067	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,626	20,148
減価償却費	15,030	15,656
減損損失(又は戻入れ)	1,615	△83
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	—	△7,759
持分法による投資損益(△は益)	57	74
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	△2
支払利息	3,474	1,073
固定資産売却損益(△は益)	△195	△13
営業債権の増減額(△は増加)	3,480	2,972
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,159	△3,384
営業債務の増減額(△は減少)	△3,710	△3,432
その他	△3,066	455
小計	16,195	25,706
利息及び配当金の受取額	245	329
利息の支払額	△2,218	△1,676
法人所得税の支払額	△1,724	△4,115
法人所得税の還付額	96	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,594	20,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△6,204	△6,685
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	546	54
投資の取得による支出	—	△755
投資の売却及び償還による収入	—	2,008
事業譲受による支出	—	△330
事業譲渡による収入	—	700
事業の取得対価の精算による収入	748	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△999	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	—	△985
貸付けによる支出	△3,710	△601
その他	235	△226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,384	△6,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△326	△444
長期借入による収入	—	311,348
長期借入金の返済による支出	△12,868	△322,683
リース負債の返済による支出	△2,702	△2,614
自己株式の取得による支出	△146	△359
自己株式の売却による収入	18	36
その他	7	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,016	△14,759
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,837	165

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△10,969	△1,160
現金及び現金同等物の期首残高	45,379	60,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,410	59,601

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖自己測定システム及びPOCT (Point of Care Testing) 製品等の体外診断機器並びに電気式医薬品注入器 (インジェクタ) の開発、製造及び販売
ヘルスケアソリューション	レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売や臨床検査事業の展開
診断・ライフサイエンス	研究・医療支援機器、病理診断機器の開発製造販売

(2) セグメント収益及び業績

セグメントの利益は従来セグメント利益と表示し、営業利益の数値を表示しておりましたが、より分かりやすい表示をすることを目的に営業利益との表示に変更し、従来同様営業利益の数値を表示するよう変更を行っております。

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	52,111	51,843	33,207	137,163	546	137,710
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	52,111	51,843	33,207	137,163	546	137,710
営業利益（△は損失）	13,078	△629	△133	12,315	△5,781	6,533
金融収益						220
金融費用						△4,127
税引前四半期利益						2,626
その他項目						
減価償却費及び償却費	6,782	5,022	2,854	14,659	370	15,030
減損損失（△は戻入れ）	1,615	—	—	1,615	—	1,615

(注) 1. 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	53,734	66,869	44,037	164,641	1,409	166,051
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	53,734	66,869	44,037	164,641	1,409	166,051
営業利益（△は損失）	10,494	8,825	3,004	22,324	△8,783	13,541
金融収益						7,789
金融費用						△1,182
税引前四半期利益						20,148
その他項目						
減価償却費及び償却費	6,797	5,215	3,327	15,340	316	15,656
減損損失（△は戻入れ）	6	—	△90	△83	—	△83

(注) 1. 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであ

り、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。